

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月24日(火) 9:30~11:30
- 3 開催場所 飛驒特別支援学校高山日赤分校 プレイルーム室  
開催にあたり、委員による学校見学を実施した
- 4 参加者
 

会 長 副 会 長 委 員 (五十音順)	柏木 真司 石原 真悠子 伊藤 早苗 岡部 美里 川原 正巳 霜山 紀代乃 田中 雪子 西野 直美  松下 孝治 丸山 永二 太田 浩司 野中 明子 長瀬 美智代 竹腰 典子 新屋 郁子 中垣 雅道 田中 一幸 中林 亜紀子	ウェルコミュニティ飛驒理事 飛驒特別支援学校本校PTA代表 まちひとぷら座かんかこかん運営委員長 飛驒特別支援学校高山日赤分校PTA代表 新宮まちづくり協議会代表 花里まちづくり協議会事務局長(欠席) 山ゆり学園施設長 ひだ障がい者就業・生活支援センターぷりずむ 主任就業支援ワーカー 高山市市民福祉部福祉課課長 高山市社会福祉協議会事務局長 校長 高山日赤分校副校長兼高等部主事 本校教頭 事務部長 本校小学部主事 本校中学部主事(欠席) 本校高等部主事 高山日赤分校小・中学部主事
-------------------------------	--	--
- 5 会議の概要(協議事項)
  - (1) 飛驒特別支援学校の令和7年度の運営等について  
校長より、令和7年度の学校運営等について説明。委員の承認を得た。
  - (2) 教員の働き方改革について  
本校教頭より説明した。
  - (3) 令和7年度の取組について  
本校教頭及び分校副校長が令和7年度の具体的な取組について説明した。
  - (4) 意見交流  
校内見学の感想や説明について意見交流を行った。

(教育活動の充実・キャリア教育について)

意見 1 : キャリア教育は卒業したら終わりというものではない。福祉関係でも就労選択支援という新しいサービスが始まっており、5年先、10年先まで、その時々適切なサービスを考えていくことになる。在学中から、卒業時、卒業後と、関係機関との情報共有や連携をしながら児童生徒の将来を考えていきたい。学校だけに任せるのではなく福祉関係機関も一緒に支援を考えていくこともキャリア教育につながる。

意見 2 : 在学中から利用できる福祉サービスを積極的に活用することも、キャリア教育の充実につながる。

(教育活動の周知について)

意見 3 : 発達障がいがあり生きづらさを感じている人は年々増えているように感じる。特別支援学校の個々に合わせた丁寧な支援の仕方を、地域の学校にも伝えることで、地域の子どもたちの生きづらさを軽減できるのではないかな。

意見 4 : 学校等が主催する講演会等を、一般の方にも案内すると、学校に足を運んでもらうきっかけになる。学校や障がい者への理解も進むことが期待できる。

意見 5 : 学校卒業後の人生を考えたとき、地域とのつながりはとても大切。まずはつながりの基礎として学校を知ってもらったり、理解してもらったりできるよう、これまで以上に学校開放してもらいたい。この協議会でも、学校を知ってもらうための取組のアイデアを出していきたい。

(地域との連携、交流について)

意見 6 : 学校と保護者、学校と地域の連携はできているように思う。保護者同士ももっとつながっていくことができるとよい。PTA加入が任意となって、PTA組織も変革期である。保護者同士のつながりの場をどう整えていくかも課題と感じている。

意見 7 : 障がいをもった児童生徒に向けた災害時の支援については、地域も協力して引続き充実させていきたい。

意見 8 : 卒業後の福祉関係施設への支援の移行については、在校中の交流会等があるもののまだ十分ではない。福祉施設での支援体制が学校ほど充実していないのが現状であり悩ましい。

意見 9 : 「子どもたちを地域に返そう」と言われてから、もう数十年がたった。今後も地域も学校と連携しながら児童生徒の教育活動を充実することができるとよい。

意見 10 : 地域の子どもたちとの交流、中高生との交流を進めてほしい。当校の児童生徒の学びになるばかりではなく、交流した子どもたちの学びにもなる。交流する中で自分らしさを大切にすれば、他の人も大切にす気持ちも育つ。

(教育活動について)

意見 11 : 学校側が児童生徒のために意図をもって様々な教育活動を展開してくれていることがわかった。保護者も気づいたことはどんどん伝えていきたい。

意見 12 : 作業学習での製品について、展示していると販売の問い合わせを受ける。作ったものが売れることで児童生徒の自信につながると嬉しい。

(その他)

意見 13 : LGBTQ+への支援はどのようになっているか。

⇒教職員に対する人権研修を行っている。現在は制服ではスカートかズボンかは選択できる。もともと個々を尊重する特別支援学校では人権感覚がおのずと身につけていると考える。

意見 14 : 教職員が心身ともに健康であることが児童生徒へのよりよい支援につながると考える。働き方改革を推進してほしい。

- 6 【価格審査会】本校高等部作業学習の製品価格について  
本校高等部主事より、今年度の製品の内容について、また価格について説明した。
- 7 会議のまとめ
- ・本学校運営協議会において、今年度の飛驒特別支援学校の学校経営計画を踏まえた学校運営方針について全委員より承認が得られた。
  - ・高等部生徒の作業製品価格等についても承認が得られた。
  - ・昨年度から教育活動の重点として挙げられている「教育活動（キャリア教育）の充実」「教育活動の周知」「地域との連携」に関する取組について行った意見交流では、それぞれの立場から貴重な意見が出された。学校運営協議会と学校がともに子どもたちの成長を支援していこうという思いを確認する会となった。